

【シリコンバレーの最先端 AI 戦略】 2026 年はインテリジェント・エンタープライズ元年

— 講師 — 米国 イノベーション グローバル キャピタル 代表取締役 京極 康信 氏

日 時 2025 年 12 月 16 日 (火) 午前 10 時～12 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

〔重点講義内容〕

AI はもはや「後付けの技術」ではない。企業戦略そのものの核心だ。世界をリードするグローバル企業はすでに AI を中心戦略に据え、損益計算書を根本から変革している。早期に AI 導入を決断し、コミットした企業ほど、価値創造を急速に拡大できる時代が到来した。

AI は単純なチャットボットを超え、自律的な意思決定能力を持つ「エージェント型の同僚」へと進化を遂げている。ホワイトカラーの仕事を取って代わり、単純業務の排除に至るまで、AI が企業活動そのものを根本的に再定義しつつある。

シリコンバレーは現実世界へと AI を浸透させている。自動運転車、AI ドローン、環境認識能力を備えたロボット(ワールドモデル型ロボット)など、フィジカル AI が産業や社会インフラの中核に進出を開始している。

金融、医療、小売、保険、プロフェッショナルサービスなど、あらゆる産業のリーディング企業は、AI がもたらす圧倒的なスピードと能力を最大限に活かして競争力を飛躍的に高めている。今こそ、日本企業は最前線のシリコンバレーのベストプラクティスから徹底的に学び、日本企業に見合う AI を有効的に活用すべきだ。

1. AI 最前線—シリコンバレーからの最新トレンド
2. AI は人間の仕事を置き換えている—労働の大転換と最新の事例
3. 自動化から「自律化」へ
—世界トップ企業の AI 活用戦略と最新の事例(金融、医療、小売、保険等)
4. AI の収益インパクト—グローバルリーダー企業の AI 投資の ROI
5. AI が創る新しい職場像—「シャドウ AI」の急増、Z 世代と経営層の AI 活用意識の違い
6. 企業戦略、ビジネスモデルと組織そのものを AI 中心に設計すべき時代
—AI 組織の具体的なアクションフレームワーク
7. まとめ—AI の強みと弱みを熟知し、その強みを戦略的に最大限に活かす企業は成功する
8. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 京極 康信(きょうごく やすのぶ)氏

シリコンバレーの VC ファンド「イノベーション グローバル キャピタル」を創業し、代表取締役を務める。日本語・英語の完全バイリンガル。長年の滞米経験により、西海岸の政財界・文化界のエスタブリッシュメントと広範なネットワークを持つ。サンフランシスコ バレエ団と de Young 美術館の理事。コロンビア大学卒業後、オックスフォード大学大学院及び東京大学大学院にて政治経済学を研究。その後、ベイン、森ビル、ファーストリテイリングにて要職を歴任し、企業経営とグローバル戦略に携わる。日本を代表する上場企業の経営アドバイザーとして活躍する。現職では、経営現場で培った知見を活かし、独自の投資哲学に基づいた「持続的な価値創造」に取り組んでいる。AI、業種特化型ソフトウェア、サイバーセキュリティなど、革新的分野への投資・成長支援を主導。国際経済・政治・先端技術に精通するグローバル・エキスパートとして日本の経営者層に向けて講演・セミナーを開催。CNBC、CNN、日経新聞など、世界有数のメディアに出演。東洋経済連載「アメリカ政治・経済の内幕:シリコンバレー最前線レポート」の著者。

<https://toyokeizai.net/category/siliconvalleyreport>

